

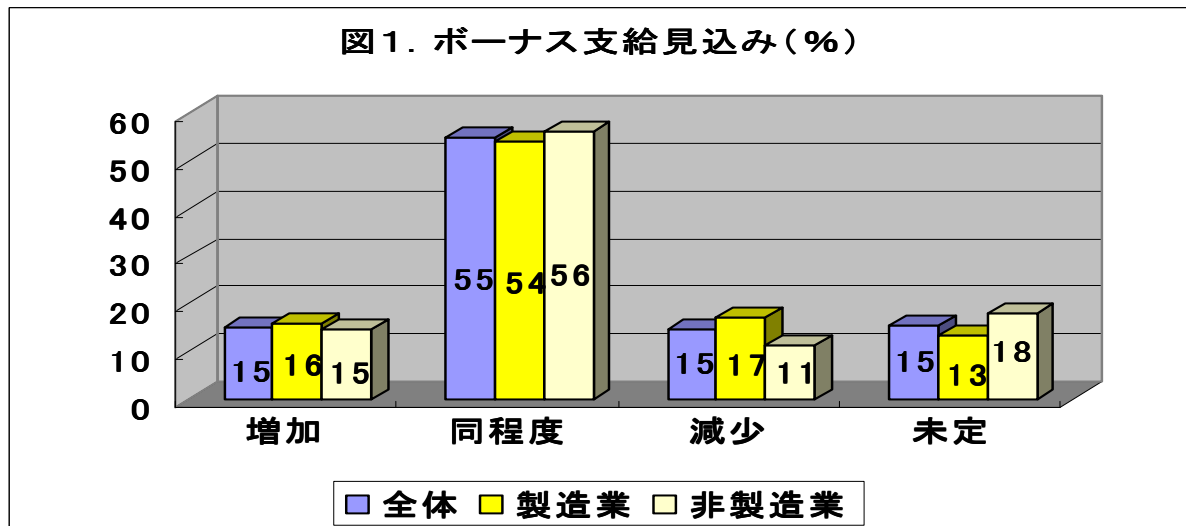
2008年夏のボーナス支給アンケート調査

この調査は、県内企業経営者を対象に実施した2008年夏のボーナス支給についてのアンケート調査結果をまとめたものである。

調査概要

- (1) 調査時点：2008年5月上旬
- (2) 調査対象：埼玉県内企業1015社
- (3) 回答状況：273社（回答率26.9%）
- (4) 調査方法：郵送によるアンケート方式

2008年夏のボーナスの支給見込みについて聞いたところ、従業員一人当たりの平均支給額が昨夏と同程度と回答したのは、全産業で前回調査（07年）の53%から2ポイント増加して55%だった。「増加」するとの回答は15%で前回調査に比べ12ポイントも下がり、逆に「減少」する見込みの企業は同10ポイント上昇して15%となっている。原油高や米経済の減速、円高の進行などで先行き不透明感が増していることから、これまで蓄えた収益を留保している模様で、昨夏にみられた従業員への所得移転が進んでいないことがうかがわれる。（図1）



企業規模別では規模の大きい企業（従業員100人以上）で約5割、規模の小さい企業（従業員100人未満）では6割弱が「同程度」と回答、前回調査とはほぼ変わらない結果だった。「増加」見込みは規模の大きい企業で前回調査より7ポイント減、規模の小さい企業は17ポイント減り、「減少」はそれぞれ9ポイント、10ポイント増加した。ただ、規模の小さい企業では、経営状況が厳しいながらも昨夏と同程度の金額を支給しようとの意識が強くみられている。（図2）

